

# 最上エコポリス通信

- mogami ecopolis tsushin -

2019年9月号 山形県最上総合支庁



## 一日知事が、県の仕事を学びます！

未来を担う子どもたちに“ふるさと山形”への理解を深めてもらうため、吉村知事と交流を持ち「一日知事」を体験する「子ども知事室」が8月5日・8月7日に開催され、最上地域からは各日2名が参加しました。

[総務課 29-1360]

8月5日

議会棟の見学。「座っていいよ」と言われて選んだのは、警察本部長の席！



高橋一吹さん  
(新庄小6年)

工藤愛子さん  
(萩野学園5年)

工業技術センターではロボットと握手しました！

8月7日

農業総合研究センターで、雪若丸とつや姫の食べ比べ！



沼澤歩音さん  
(新庄小6年)

東海林駿さん  
(大堀小5年)

水田ほ場ではたくさんの稲が肥料の量を変えて育てられていました！

## 新庄・最上ジモト大学 夏休み期間中、さまざまなプログラムが開催されました！

しごとトーク  
～理工系学部大学に進んだ  
その先には～

8/1  
@新庄北高校

理工系学部に興味がある高校生と地元企業等で働く理工系出身の若手社員が意見交換を行いました。山形東亜D K K(株)の海藤裕一さんなど3名の先輩から、学生時代の話や今の仕事に就いたきっかけ、仕事のやりがいなど、赤裸々(?)に語っていただきました。参加した生徒からは、「将来の夢や目標を見つけ、勉強を頑張りたい」、「視野が広がり、もっと地元に触れようと思った」など前向きな感想が聞かれました。



[地域産業経済課 29-1306]

8/5～(3泊4日)  
with 新北生

やまがたイノベーションキャンプ

県内の中高生が地域課題解決に向けたビジネスプランを考える「やまがたイノベーションキャンプ」に、ジモト大学として新庄北高生も参加しました。地元企業や商店街などを視察し、課題設定から解決策の立案まで行い、最終日は「Uターンの街新庄市へ～未来の卵が帰ってきやすい街作り～」と題してプレゼンしました。

高校生にとって地元について深く考える機会になったとともに、他地域の中高生との交流も刺激になったようです。



[地域産業経済課 29-1306]

## 医療現場見学会

8/1, 2  
@新庄徳洲会病院

2日間で合わせて44名の高校生が参加し、病棟、透析室、救急外来、リハビリテーション室などの見学を行いました。

院内見学後は看護師や理学療法士など先輩医療従事者との懇談会も行い、自分の進路の参考としていました。



[保健企画課 29-1257]

9月のジモト大学

ピーナッツの商品企画で  
将来の自分をゲットしよう！

初 9/28  
with 新庄信用金庫

金山町では、(株)でん六、山形大学、行政、新庄信用金庫の産学官金による“落花生”の産地化を進めています。ジモト大学のプログラムでは、ピーナッツの生産から販売まで携わり、資金調達の仕組みや商品企画、デザインから販売方法まで地域経済を循環させる6次産業の仕組みを学びます。近い将来、高校生と地域の大人と一緒に考えたピーナッツ商品の販売が期待されます！



[連携支援室 29-1238]

# 道の駅への期待膨らむ ～第3回もがみ創生「北のゲートウェイプロジェクト」検討会～



8月27日、雪の里情報館雪国文化ホール（新庄市）にて、第3回もがみ創生「北のゲートウェイプロジェクト」検討会が開催されました。地域で活躍されている方々として、新たに【最上地域農業士会副会長 小野貴之さん】【(有)舟形マッシュルーム専務取締役 長澤大輔さん】【赤倉温泉旅館わらべ唄の宿湯の原女将 柴田薫さん】【山形県立農林大学校果樹経営学科2年 菊地美桜さん】の4名を迎え、前回から引き続きゲートウェイとなる道の駅の機能を中心に意見を交わしました。4名の方々からは、「ゲートウェイとなる入口で見える、新鮮なもの・美味しそうなものが地域の顔となる」「冬場は産直物が減ってくる。加工品の製造など柔軟な使い方が必要」「最近是最上地域でも災害が多い。支援物資の集配場所など防災拠点としての役割も担ってほしい」「中高生が遊べる場所がほしい」などの意見をいただきました。



次回からは議論の中間まとめの形で整理し、構想のたたき台を示しながら、具体化に向けた議論に進んでまいります。

[建設総務課 29-1391]

## 福祉介護の魅力発信 ～もがみ介護フェア～

8月3日に、新庄コアカレッジにおいて、「もがみ介護フェア」が開催されました（主催：新庄コアカレッジ、共催：もがみ介護人材確保推進ネットワーク協議会）。このイベントには地元の高中生や一般の方など約30名が参加し、新庄コアカレッジの学生の実習体験報告を聴講したほか、福祉機器の使用や介護の模擬実習を体験しました。

参加した高校生からは、「入校したらこういう学習ができるのかとイメージでき、楽しく体験できた」との感想が聞かれました。



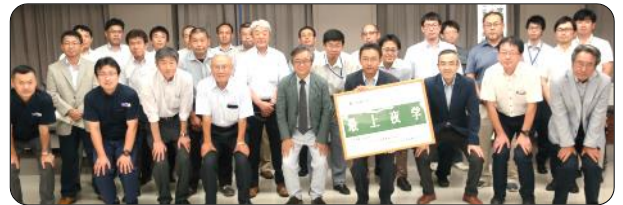
[地域保健福祉課 29-1276]

## 「知」の学びが地域企業の未来を拓く ～最上夜学～

7月26日に、最上地域の産学官連携のきっかけづくりの場を提供する「第85回最上夜学」が最上総合支庁講堂で開催されました。

鶴岡工業高等専門学校校長 高橋幸司先生より「中小企業経営者のための経営工学～経営工学の理念とその応用～」について話題提供いただきました。質疑も活発に行われ、その後の交流会でも、先生を囲んだ相談・情報交換が行われました。

今回は、9月18日（水）に開催予定です。



[地域産業経済 29-1307]

## 新庄まつりに集う地域の美食

8月24日と25日、きらやか銀行新庄支店駐車場において、「美食広場～AMAZING MOGAMI～」を開催しました。天気にも恵まれ、新庄まつりとともに大いに盛り上がり、最上地域の美味しい食をたくさんの方に楽しんでいただきました。

岐阜県大垣市や飛騨市からの出店や山形大学の学生が企画した「新庄まつり山車の桜作り体験」コーナーの設置、「最上・庄内観光スポットスタンプラリー」と「東北へそスタンプラリー」のスポット設置など多くの方が観光ブースを訪れた2日間でした。



[観光振興室 29-1312]

## もがみの旬

最上町と舟形町を流れる清流・最上小国川。「鮎釣りのメッカ」として知られ、毎年多くの釣り名人が訪れます。ここで獲れる鮎は「松原鮎」と呼ばれ、味・香り・姿の三拍子が揃う一級品で、かつては明治天皇にも献上されました。

鮎を一番美味しく味わえるのは、やっぱり塩焼き！9月7日（土）・8日（日）に、舟形町のアユパークふながたを会場に「第39回ふながた若鮎まつり」が開催され、新鮮な焼き鮎が販売されます。子ども鮎つかみどり体験や歌謡ショーなど、楽しいイベントも目白押しです！ぜひお出かけください！

詳細：舟形町HP



[総務課 29-1360]



# 地域で働く医療従事者のイメージを持とう！

中秋は旧暦の八月十五日、今年は九月十三日だよ。満月は九月十四日！  
月見だんご、食べるの楽しみだな～☆



8月7日、県立新庄病院において、「最上地域出身看護学生と中学生との交流会」を開催しました。8月6日・7日に行われた「看護学生研修（主催：最上地域保健医療対策協議会）」に参加した最上管内出身の看護学生8名と、看護師などの医療従事者をめざす新庄市内の中学生3名が参加しました。



昼食をとりながらの和やかな雰囲気の中、中学生からは、「看護師を目指した理由は？」、「やりがいを感じるのはどんな時？」、「今の学校を選んだ決め手は？」など、医療従事者をめざすうえで気になっていることについて質問があり、看護学生一人ひとりから丁寧に回答してもらいました。また、交流会終了後には、新庄病院に御協力いただき、院内の見学をさせていただきました。

県では、このように看護学生や地域の医療従事者から中高生が話を聞く機会を設けることにより、医療従事者をめざす中高生のモチベーションアップを図ってまいります。

[保健企画課 29-1257]

# 受け止め方の魔法～どんな出来事もプラスに変える力～



県では、女性が自分らしく輝いて生きるためのライフキャリアアップを目指し、参加者が交流しながら学ぶ講座として、今年度3回の予定でMogajo Cafe(モガジョカフェ)を実施しています。8月4日に開催した第2回は、新庄市内「CAFE LABO」を会場に、「こころことばネットワーク」代表の齊藤理子さんを講師にお迎えして、12人が参加しました。ランチ交流会の後、「リフレーミングでプラス思考を身に付けよう！」のテーマで、グループに分かれてワークを通して実践的に学びました。



「リフレーミング」とは、出来事や物事について、今の見方とは違った見方や受け止め方を見つけることで、それらの意味を変化させ、気分や感情を変えること。自分の欠点やうまくいっていないと思っていたことについて、他の参加者に「〇〇って、△△っていうことだからいいことだよ」と声をかけてもらい、マイナスだと思っていたことが自分の中でプラスに変わっていくことに驚きの声があがっていました。

Mogajo Cafeは9月にも開催予定です。リラックスした雰囲気の中で、身に付けると役に立つ知識がきっと得られます。ご参加をお待ちしています。

[子ども家庭支援課 29-1245]

## シリーズ 大雨災害からの早期復旧・防災対策

### 平成30年8月豪雨から1年

#### ～林地・林道の復旧状況～

林地被害（治山事業）では、国の災害復旧事業により8箇所、県単独事業により19箇所です。国の災害復旧事業は全箇所です。県単独事業では15箇所です。

林道被害（林道事業）では、国の災害復旧事業により13箇所、県単独事業により28箇所です。このうち国の災害復旧事業では4箇所が、県単独事業では27箇所が既に完成しています。

県では、引き続き年度内の完成を目指し工事を進めてまいります。

治山ダムで土砂流出の防止  
(戸沢村大字角川字滝ノ下)



土砂流出状況



施工中の治山ダム

人家裏斜面を法枠工で復旧  
(戸沢村大字角川字長倉)



人家裏斜面の被災



完成した法枠工

◆ 今後も早期復旧に向けご理解とご協力よろしくお願ひします。◆ [森林整備課 29-1352]

## 若手ねぎ生産者奮闘中!

管内のねぎの若手生産者17名が、全体平均を上回る単収を目指して栽培技術の向上を図るため、研究会を組織して研修会を行っています(主催:最上広域ねぎ部会)。

第3回目は8月19日に開催され、「ねぎ栽培における肥培管理」をテーマに研修を行いました。切磋琢磨することで若手生産者の栽培技術は年々向上しています。将来ねぎ産地を担うエースとなるよう、県も支援してまいります。



[農業技術普及課 29-1328]

## 最上産さくらんぼの評価向上に向けて

7月31日、農林大学校「緑風館」にて、「もがみさくらんぼ品評会」(6月25日開催)の表彰式と、生産者・関係機関による意見交換会を開催しました。

意見交換会では、「しっかり観察し適期管理をする重要性」や、「入賞を励みにこれからもおいしいさくらんぼを生産しよう」、「新規栽培者の掘り起しを今後進める」等、更なる品質向上に向けた検討が行われました。

県は、関係機関と一体となり、引き続きさくらんぼの生産振興を支援してまいります。



[農業技術普及課 29-1333]



# おしらせ

### 東北の「へそ」三県交流まつり

【日時】9月10日(火)・11日(水)  
10:00~16:00(11日は10:00~15:00)  
【場所】仙台市勾当台公園市民広場

秋田県雄勝地域・宮城県大崎地域の特産品の展示販売をはじめ、山形県最上地域の手打ちそば、芋煮の販売や真室川音頭などの郷土芸能を披露します。



[観光振興室 29-1311]

### 第5回県立新庄病院健康まつり

県立新庄病院では、今年度で第5回を迎える「新庄病院健康まつり」を開催します。

【日時】9月8日(日) 10:00~13:00  
【場所】県立新庄病院

参加無料

【テーマ】「仁・愛・和 ~明治から令和まで みんなでつくろう元気な最上~」

ちびっこだクター・ナース、赤ちゃんを抱っこしてみよう、模擬手術、模擬調剤等の体験コーナー、まちの保健室等各種健康相談、はしご車、ミニ白バイ展示など、催し物を多数準備する予定です。

[保健企画課 29-1257]

### 「エプロン男子フォトコンテスト in 最上」の募集

家庭において、男性が作った料理の写真を募集します!

【募集期間】  
8月1日~10月31日  
【応募条件】

山形県内在住の男性が作った料理であること。



詳細(県HP)



応募



[子ども家庭支援課 29-1245]

### 「~R1 みんないっしょ~ 親子でスポーツ!!」参加者募集

最上地域みんなで子育て応援団

お子さんも楽しめる運動あそびを親子で一緒に体験できます!  
【日時】10月12日(土)9:30~12:00  
【場所】すぽーていあ  
【参加料】無料

(要事前申込9月20日(金)まで)



[子ども家庭支援課 29-1245]

### 高坂ダムの流木を無償提供します

【日時】9月13日(金)  
9:30~(9:15~整理券配布、なくなり次第終了とします)  
【場所】高坂ダム管理課庁舎裏の広場

①先着45名、②1名あたり軽トラック1台分程度、③流木を大割又は小割しています。提供の条件がございますので、詳しくは県HPをご覧ください。高坂ダム管理課へお問合せください。



詳細(県HP)

[高坂ダム管理課 63-2613]

発行日: 令和元年9月1日

発行元: 山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話: 0233-29-1360 FAX: 0233-23-2605



Twitter



HP

中秋の名月...実は毎年日にちが変わるんだよ。今年は何日か、エコポリス通信の中のお答えを探そう!

